

科目番号		52034	分類	地域母子保健学	履修者	高度実践助産コース			学年	
科目名	地域母子保健学演習 (Practice for Maternal and Child Health in the Community)								1	
									配当セスター	
									後期	
担当者	〇戸津 有美子 他 4 名			区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	1	時間数	30
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連			
【概 要】 妊産婦および乳幼児の個人・家族・集団への個別支援の実践方法を学ぶ。妊産婦や乳幼児に対するアセスメントを通して、家庭訪問や保健指導、健康相談における支援の方法や技術を具体的に学ぶ。 【目標】 1. 妊産婦および乳幼児の個人・家族・集団への個別支援が実践できる。 2. 産前・産後訪問、新生児訪問など家庭訪問と実際の保健指導の内容、健康相談の計画を立案・作成できる。 3. 訪問活動の事例を通して実践を行い、評価できる。 4. 地域母子支援に必要な、地区診断を行い、支援計画を立案し評価できる。								1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
							○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
							○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
								4.周産期の救急時に対応できる能力		
							○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
								6.研究・開発能力		
								7.倫理的意思決定能力		
授 業 計 画										
回	内 容								担当教員	
第 1 回	科目のガイダンス 地域母子保健学演習の概要								戸津 他 4 名	
第 2 回	地域母子保健の現状と課題の分析 母子保健統計資料（国・都道府県・区市町村）									
第 3・4・5・6 回	地域母子保健の現状と課題の分析 （GW）									
第 7 回	地域母子保健の現状と課題の分析 発表									
第 8 回	地域母子保健における地域ニーズの把握と施策化									
第 9 回	地域母子保健における支援の実践（妊娠期、新生児期等）									
第 10・11・12 回	地域母子保健を支える訪問事業 新生児訪問計画立案と指導案の作成（GW）									
第 13・14 回	新生児訪問の実践・演習（GW）									
第 15 回	地域診断による分析と新生児訪問計画のまとめ									
事前・事後学習	事前学習：各回の必携および参考図書で該当する部分を読んでおくこと。 事後学習：配布資料を復習する。レポートを課す。 事前事後学習には 30～60 分程度で出来る課題を課す。									
評価の方法	課題 70% 授業・演習への参加状況・プレゼンテーション・ディスカッション 30%									
参考図書・資料等	◎助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健 我部山キヨ子他 第 6 版 医学書院 ・母子保健の主なる統計 令和 7 年度版 ・助産師のための産後ケアガイド 2023 日本助産師会出版 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。									
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。									